

EMLG-JMLG Annual Meeting 2022 報告

JMLG Secretary

西山 桂 (名城大学理工学部)

【概要】 EMLG-JMLG Annual Meeting 2022 —Molecular Liquids at Interfaces— は、9月12日(月)から9月16日(金)までの5日間、バルセロナ (スペイン) において開催された。学会 Chair は Prof. Giancarlo Franzese (バルセロナ大学) が務めた。

学会初日 (12日) は市内中心部にあるバルセロナ大学の大講堂 (Paranymph) において、Chair による開会の辞が発表された。Joan Guàrdia Olmos バルセロナ大学長等による歓迎のあいさつに続いて、基調講演、そしてウェルカム・パーティーが催された。翌日からは、郊外にある同大学物理・化学科棟の講義室 (Aula magna Enric Casassas) に場所を移して開催された。

学会では、基調講演9件、招待講演16件、一般口頭講演40件、ポスター48件の発表があった。参加人数は120名、そのうち日本の研究機関からの参加者は8名であった。14日にはエクスカーシオンが開催され、市内のモダニズム建築 (アントニ・ガウディ等) を見学するツアーが組まれた。また15日には Social Dinner が企画され、市内の古城レストラン「Can Cortada」においてスペイン産ワインとともに地元名物の肉料理が振る舞われた。

【基調講演】 今回の講演のうち、基調講演は以下の9件ある。(プログラム掲載順、敬称略)

Emilio Artacho (University of Cambridge, UK)

2D-Confined Water. Phases and Dielectric Response

Fernando Bresme (Imperial College London, UK)

Taming Complex Fluids with External Field: a Computational Journey

Kenneth A. Dawson (University College Dublin, Ireland)

A Critical Role for Glassy States Biomolecular Condensates in Nanoscale Regulation of Biology

Pablo G. Debenedetti (Princeton University, USA)

Computational Studies of Supercooled Water with an Ab-Initio Deep Neural Network Model

Martina Havenith (Ruhr-University Bochum, Germany)

The Stressed Solvent: Terahertz Calorimetry Probing the Solvent in Action

Kenichiro Koga (Okayama University, Japan)

Two Aspects of the Osmotic Second Virial Coefficient

Rahul R. Nair (The University of Manchester, UK)

2D Materials-based Intelligent Membranes

Takakazu Nakabayashi (Tohoku University, Japan)
Water in a Living Cell Probed by a Raman Microscopy

Gregory A. Voth (The University of Chicago, USA)
Recent Advances in Bottom-up Coarse-Graining of Liquids

【ポスター賞】 次の若手研究者に授与された。1位から3位の順に記載。

1. Maria von Einem (University of Bremen, Germany)

Is TiO₂ Cleaning our Wastewater in the Future?

2. Zsófia Judit Sarkadi (University of Pannonia, Hungary)

Scaling for Selectivity in Uniformly Charged Selective Nanopores

3. David Kotwica (University of Rostock, Germany)

Spectroelectrochemical and IR-Photocatalytic Investigations of Manganese based CO₂-Reduction-Catalysts

【会議予定】

2023年 EMLG-JMLG Annual Meeting

Chair: Dr. Thierry Tassaing

会場：ボルドー（フランス）

会期：2023年9月

（詳細は追って学会 web 等に掲載）

【印象】 コロナ禍により、前回（2019年9月、開催地：クトナー・ホラ（チェコ））から3年ぶりの開催となった。学会初日には、旧知の研究者間で再会を喜び合う姿が多く見られた。今回の会議では、単純な液体から環境に閉じ込められた系まで、あるいはイオン液体からソフトマテリアルに至るまで、幅広い系について報告された。分子論的な議論が多かったように思えるが、複雑な液体をあえて粗視化してシンプルな知見を得ようとした研究など、研究者による多様な物質観が反映された講演が多かった。なお本学会の成果を反映して、*J. Mol. Liq.* 誌の特集号が今後刊行される。

バルセロナでの食事は、市内のレストランやカフェはもとより、大学の学生食堂にいたるまで美味であり、食の都という別名に恥じない。なおバルセロナでは一般的なスペイン語ではなく、カタルーニャ語が公用語となっている。学内の看板から掲示物に至るまでカタルーニャ語表記であったのが印象的だった。



(左) バルセロナ大学 Paranymph (大講堂) 内部、(右) 建物外観と中庭



(左) 学会会場、(右) 会場ホールへ通じる化学科棟の入口

以上